

## 令和2年5月 斐伊川水系水質情報

令和2年5月(宍道湖:14日・中海:8日採水)					単位:mg/l(Chl-a: µg/l)					
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	5.6	△	平年並み	3.4	△	平年並み	4.4	△	平年並み
全窒素	上層	0.40	○	良好(平年並み)	0.38	○	良好(平年並み)	0.39	○	良好(平年並み)
全リン	上層	0.055	△	平年並み	0.046	△	平年並み	0.043	△	平年並み
Chl-a	上層	23	△	平年並み	10	△	平年並み	12	△	平年並み
塩化物イオン	上層	2,930	△	平年並み	7,980	△	平年並み	10,500	△	平年並み
	下層	3,010	△	平年並み	18,600	×	やや高い	12,500	△	平年並み
溶存酸素	上層	9.5		平年並み	9.3		平年並み	10.2		平年並み
	下層	9.1		平年並み	6.1		平年並み	9.7		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	5.0	やや上昇	4.3	下降	4.4	横ばい
全窒素	上層	0.36	横ばい	0.45	やや下降	0.49	横ばい
全リン	上層	0.049	横ばい	0.048	横ばい	0.036	横ばい

宍道湖の透明度は1.3mから1.0mとやや下降し、やや悪い。中海の透明度は先月と同様に1.2mと横ばいで、やや悪い。米子湾の透明度は1.3mから1.8mとやや上昇している。

### 【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

#### 1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の2倍	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値	×	<やや高い>
10年間平均値	△	<平年並み>
平均値-標準偏差値		ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。
平均値-標準偏差値の3倍	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

#### 2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%